

令和1～3年度支援部事業計画		ビジョン 障がい者とその家族がここで生まれ育ってよかつたと思える満足一善地域を創り出せる法人となる				
部門名	シナリオ	方針	定員等	ビジョン実現のためのロードマップ		
				R1年度	R2年度	R3年度
日中	日中事業所センターを 設置し、手厚い支援とサービ スメニューの中で園域に暮ら す障がい者が日中活動(支 援)を通して生活を全般が向 上し、充実している。	○入所が行う従たる事業所(5 か所)を分離。併せて統廃合 によるスケールメリットを活か しサービス向上を図る。 ○ふくら、つむぎ、ときわ広 域等の定員不足分を新規規 則利用者を利用して頂くこと で園域の運営的なニーズ、デ マンドを掘り起こし福祉向 上に努める。 ○多機能事業所のサービスの 刷新を行い職員体制の充実 させサービス種はそのま まに高いインパクトな事業系 にする。 ○就労8等の働く希望のある 高齢障害者に対して、介 助支援を充実した働くサー ビスメニューを創出する。	事業所名 きなり、まーぶる、たけはら、ふつら、かすたねと等	R1年度 きなり、まーぶる、高社、ながみね、ふつら、かすたねと等	R2年度 きなり、まーぶる、高社、ながみね、ふつら、かすたねと等	R3年度 きなり、まーぶる、たけはら、ふつら、かすたねと等
			運営・設備計画 ①Siosai一きんりの従たる事業所へ(7月)→ 済 ②高社の一部(ひばり等)、たけはら一きんりに入り新生活介護事業所としてOPEN(7月)→ 済 ③上記に伴い高社生介60→40済み ④ねくすと、siosai 年度加算Ⅱを取得19名 済 ⑤ほくすい、ときわ→9月までに在り方研究し、来年度4月1日の形を作る(ときわ、雁木、つむぎ、ふつら、ねくすと等 全ての日中事業所と連動)主か従か、コンサト検討→ 済 ⑥高社(ひばり)をきなり(済み)、高社40→20(10月)→いったん見合わせ(5)と連動 ⑦ときわ(ひばり)をきなり(済み)、高社40→20(10月)→いったん見合わせ(5)と連動 ⑧ふつら→新規利用者5名獲得(卒業生)＋地域より1名獲得一済み、しかし(5)と連動 ⑨高社生介入所新規1名獲得(加算Ⅱあり)→ 済 ⑩ふつら高齢利用者5名→高社、ながみね、きなり等への生活介護(10月)⑤と連動 ⑪ねくすと利用者→ほくすい、きなり、Siosai(できる限り)⑤と連動 ⑫ながみね生活介護60名→50名へ(7月)→ 済 ⑬まーぶる高社本体へ(7月)→ 済 ⑭つむぎにふつら工房より利用者7名移動(7月)→ 済 ⑮ふつら等通所部門に新規利用者7名獲得(7月)→ 済 ⑯ながみね生活介護に新規2名獲得→ 済 ⑰⑮の答えの一つとして、雁木内、発サボ就B→新生活介護事業所「ごろうさん」として定員20名で開所(4月)→ 未 ⑱⑮の答えの一つとして、ながみねほくすいは老朽化と今後の職員配置を考慮し返却を検討→ 済	効果・利益・指標 ①③④⑤年度加算Ⅱ取得(19名想定(ねくすと12名、Siosai7名)、配置加算は勿論意識。これにより強度行動障害の方への支援の質向上。 ②ねくすと利用者→きなり、おさむり、Siosaiより3名の職員を生み出し重度高齢支援へ充てることによりサービスの向上。副次的効果として14万実質減/月(まーぶる、たけはら)。 ③⑥⑪日中支援型GHへの移行のため定員減。これにより日中活動環境の向上と併せて生活の質が向上。副次的効果としてGH移行まで生介単価増。 ⑦⑧⑨⑩新規利用者獲得により地域のサービスにつなげていない障がい者がサービスにつながることでその方の生活の質が向上。また高社でも介助支援しかりと用意された事業所において働く活動を提供することにより、人生の終焉まで希望に基づいたサービスの提供が可能となる。副次的効果として新規利用者10名による収入増とサービス種変更により収入増。 ⑪ねくすと利用者の日中活動の選択性と質の向上、各事業所のスキルアップが望め、複雑な障がいに対して複数の事業所が対応できる事となり園域の支援力アップ。またその後行われるねくとの建物が生活介護の主たる事業所となるため。 ⑫スケール適正化させ職員を生み出しきなり等の新規事業や重度高齢化へ一済み ⑬⑭⑮⑯新たなニーズを掘り起こし園域の福祉向上のため ⑰実際の利用者の状況等を踏まえたニーズに応えるサービスを実施。雁木利用者は介護等を受けながら未永く働くニーズが実現される。副次的効果として制度変更により基本報酬増。 ⑱分散された職員を集中することや支援量を増やす事ができ、今後の人口問題に対応。ながみねの日中活動の人員と建物の在り方が明確となりコンセプトが明確化されサービスの質の向上が図られる。	見たと してどう なるか。 ★きなりはたけはら、高社の一部(入浴はひり等)の生活介護を吸収した独立事業所となる。その従たる事業所が「Siosai」となる。 ★まーぶる、たけはらの賃貸物件を返却する。 ★新規利用者が17名増となる	①ほくすい、ときわ広域、雁木(就B、地活「ごろうさん」、ながみねが一つとなる(4月1日)。 ②ねくすと利用者→きなり、おさむり、ながみねへの移行取り組(通年)、数値目標2名 ③まーぶる、siosai 新たな活動場所を模索。(10月1日にレポート提出) ④③に1より高社生活介護定員40→30へ(10月1日)。 ⑤ふつら、つむぎ、ねくすとで新規で7名受け入れ(4月～10月上半期中)。 ⑥高社日中新規3名(まーぶる)受け入れ(4月～10月上半期中)。 ⑦かすたねと、コンパス、日中センターへの合流を検討(10月1日合流)。 ⑧緊急時マニュアルを本部、総務部と連動したものを作成。(7月1日に完成実施)
居住	居住全般的な生活支援 センターを創出し、入所者、 GH入居者と、園域に暮らす全 ての障がい者とそのご家族が 安心して暮らすことができ ていく。	○GHの組織を大きく北と南の 二つに分ける。 ◆北:戸野、ときわ、下水沢、 たまち、静間、エムハイツ(31 名) ◆南:かたしお、EAST、さん ぼ、かおる、江部(40名) 北の拠点は「ながみね」南の 拠点は「高社」となりリンク 職員をふりわける。また利用者 の介助率に合わせGHに利用 者を再編し、24h365日の支 援体制を強化するとともに、職 員配置の効率化を図る(※後 述)はできるだけ維持しながら 大前提)。 ○西条ホームを廃止し、建物 コストの削減と人員体制の効 率化を図る。 ○上記の流れで夜勤体制が 必要なGHには夜勤体制とし て居住者の安心感とサービス 向上を図る。	事業所名 りんく、高社、ながみね	R1年度 りんく、高社、ながみね	R2年度 りんく、高社、ながみね	R3年度 りんく、高社、ながみね
			運営・設備計画 ①りんく事業廃止。合わせて職員北と南に異動(5月31日をもって)→ 済 ②ながみね入所者3名がGHへ地域移行→ 未(2名は済) ③高社入所者2名がGHへ地域移行→ 未(1名は済) ④ながみね40→37、高社30→29名に減員(7月)→ 済 ⑤さんぼみらの職員体制を上記日中で生み出す職員とながみね余剰で夜勤体制とする。 未 ⑥さんぼみら定員増(8月)→ 済 ⑦下水沢の利用者再編により自立的GHへ、宿直体制をなくす。 済 ⑧とがりGH、静間GHの利用者再編により自立的GHへ、宿直体制をなくす。→ 済 ⑨新規入居者を7名獲得→ 済 ⑩ひだまり、仲間の家スプリングラー設置(8月)→ 未 ⑪ながみね年度加算Ⅱ7月より8名新規。 未(内2名済)コンスタントに加算支援を8名の方に行えるようになった。	効果・利益・指標 ①職員配置等GHの支援体制を再編することにより24h365日の支援体制が強化されることによりリスクが減少、居住者の安心感が向上。 ②③④利用者の意思に基づき地域移行。ノーマライゼーションの実現。副次的効果として地域移行による単価、加算増で収入増。高社日中GHに向けても減員。 ⑤さんぼみら昇昇を夜勤体制とし居住者の安心感向上。また夜勤配置加算による収入増という副次的効果。 ⑥⑦地域移行、人員の配置を刷新しより特色あるGHを構築。安心感ある住まいの選択性を創出。副次的効果として人員削減。 ⑧これにより人員を生み出す。または人員費減。 ⑨これによりながみね本体居室3部屋を生み出し、個室化、GHの重度高齢の受け入れ、又は新規利用者を検討、生活の質向上。 ⑩強度行動障害の方への支援の質向上。	見たと してどう なるか。 ★りんくという事業所は無くなる。 ★西条ホームがなくなる。 ★下水沢、戸野、静間ホームの宿直体制がなくなる。 ★南、北の居住に関して高社、ながみねがそれぞれ24h365日の支援センターとして機能する。 ★さんぼみら昇昇が一つの組織として職員体制が作られる。 ★GH新規入居者が7名増える	①高社入所者3名が地域移行00→27へ(年度内)。 ながみねからの地域移行も随時実施 ②個別性の高い地域生活の実現のための居住の在り方(入所、GH、在宅支援や環境)を支援部、居住部門で開始。10月にレポートを報告。→7月中に変更。 ③各事業所短期入所事業の内容再編、フロントマネジメント構築を進め4月より段階的に、10月に ※高社スタート→コロナにより2→3ヶ月ずれて開始 ④ながみね短期入所3床内緊急1床(定員3→2)となる(10月1日)。看板は自立型 ⑤高社短期入所定員はこれまで同様。看板は身障バリアフリー型 ⑥はるかぜ短期入所定員は4→5へ。緊急は2→1へ(10月1日)。看板は重度知的行動障害型 ⑦きんぽうはこれまで同様。看板は児童 ⑧緊急時マニュアルを本部、総務部と連動したものを作成。(7月1日に完成実施)
在宅	児童から成人、高齢 障がい者とそのご家族が地域 で安心して生活が継続でき、 希望を持った地域生活が送 れている。	○「やまとサービスセンター」と 「総合安心センター」はるかぜ の役割を明確にし、園域全体 における在宅生活の24h365日 途切れぬ支援の強固な土台を 構築する。 ○コンパス(放課後デイ)での 活動と保育所訪問の取り組 みを通して児童期から将来を見 据えた支援、対策を検討しライ フステージに合わせた途切れ ぬ支援を構築し、障がい者 とそのご家族が安心して人 生を送れるようになる。 ○かすたねとの活動場所を うまし苑内に移動し、サー ビスの向上を図る。	事業所名 やまと、総合安心センターはるかぜ	R1年度 やまと、総合安心センターはるかぜ	R2年度 やまと、総合安心センターはるかぜ	R3年度 やまと、総合安心センターはるかぜ
			運営・設備計画 ①やまと、総合安心センターはるかぜの機能と役割を確認。年度内には両事業所の組織体制が構築されている。 済 ②コンパス、保育所訪問の利用者と訪問数を増やす。(保育所訪問0名、放デイ17名済)	効果・利益・指標 ①ある意味継りであった2拠点の居室事業所が方向性、サービス対象者や提供システムを共有することにより園域全体の24h365日の在宅障がい者へのサービスの向上が図られる。またスケールメリットを活かした24h365日の支援体制が構築されることにより、より重層的できめ細やかな在宅サービスが提供できるようになる。副次的効果としてスケールメリットによる職員体制強化により利用者増による収入増がある。 ②園域に暮らす障がい者とそのご家族の安心感を広げ、ライフステージにおける途切れの無い支援が構築され地域生活の継続が図られる。	見たと してどう なるか。 ★特に見たとしては大きな変化はない。	①31年度で再編・強化された役割、機能を更に人事を含めた組織再編により強固なものとして、園域全体の24h365日の在宅障がい者へのサービスの向上が図られる。地域定着の強化により入所実員と定員が減 ②園域に暮らす障がい者とそのご家族の安心感を広げ、ライフステージにおける途切れの無い支援が構築され地域生活の継続が図られる。利用者の増 ③不測の事態に備え、事業所、法人全体がマニュアルに基づいた緊急時対応を一体的に行え、リスクが最小限となる。
相談	相談支援体制の充実を図り、 支援部との連携も含め、園 域に暮らす障がい者の多様 なニーズに応えられるよ うになる。 また、ライフステージに 応じた途切れぬ相談体制 を構築し、園域の障がい 者とそのご家族が安心して 人生を送れるようになる。	○岳北と岳南に相談支援拠 点をそれぞれ置くことで相談 体制の強化と質の向上を 図り、併せて支援部と両相談 点が密に連携を図って適切 なサービスをタイムリーに 提供できるようにする。	事業所名 りんく、つむぎ	R1年度 りんく、つむぎ	R2年度 りんく、つむぎ	R3年度 りんく、つむぎ
			運営・設備計画 各事業所でそれぞれ配置されていた相談員が2箇所に来集することにより情報の共有と効率化が図られる。また園域全体にサービスを提供する支援部との連携と情報共有を密にすることにより当事者へのサービス情報と提供が充実する。	効果・利益・指標 各事業所の相談員が岳北(事務局)と岳南(つむぎ)に分かれ相談支援事業が行われる。	見たと してどう なるか。 ★特に見たとしては大きな変化はない。	相談員の確保、獲得等の状況により相談体制の再度検討。 新たな相談体制が整備される。5月検討レポート提出、レポートもと7月新体制実施。 レポートの結果による。
医療、保健	園域の障がい者の重度高 齢の課題に対して、医療 支援体制を整備強化し、 当事者の皆様が安心して 人生を送ることができる 園域となっている。	○医療、保健に関わる資格 者等が集い、園域内の人 員を確保し、課題への対 策を考える。 ○法人内に医療、保健に関 する拠点を整備し法人内 の拠点全体の重度高 齢状態となった当事者に 支援を提供できるように する。	事業所名 ながみね、高社、はるかぜ、かすたねと	R1年度 ながみね、高社、はるかぜ、かすたねと	R2年度 ながみね、高社、はるかぜ、かすたねと	R3年度 ながみね、高社、はるかぜ、かすたねと
			運営・設備計画 ①かすたねと 看護師1名採用→ 済 ②法人の医療保健の専門職が継続しては部門設立を目指す。 未 但しそれを検討する委員会は設置済 ③医療部門立上げを検討。命取組には部門設立を目指す。 未	効果・利益・指標 ①ケア児の質が高く、安全な受け入れと、主目レバハイの実能が可能となる ②法人全体の医療的な支援の質が上がる。	見たと してどう なるか。 ★特に見たとしては大きな変化はない。	①医療保健委員会が立ち上がり、部門設置のための協議を行い、10月1日には医療部門を設置する。